

新しい地方経済・生活環境創生交付金(デジタル実装型)
令和7年度事業報告書

資料3-2

事業名		図書館システム整備事業				担当課		生涯学習課			
事業の背景		複合施設内の図書館でもあるため、図書館目的でなく立寄った際、利用者カードを持参されていない方がよく来館される。 利用者カードを忘れた時は、利用者による身分証明書の提示、用紙への記入により貸出を行っているが、「図書館のカードを忘れることもあるし、いろいろなカードでお財布やカード入れがいっぱいになるのでどうにかならない？」という声が以前から多かった。									
事業概要 (目的、対象、手段等を含め取組内容を簡潔に記載。検討中の取組については現時点で記載できる限り記載すること)		図書館システム更新に伴い、次の2点を導入する。 【利用者カード バーコード表示サービス】 ・利用者カードを常時携帯していなくても、スマートフォンさえあればいつでもバーコードを表示でき貸出が可能となるので、職員の作業負担、利用者の記入の手間、時間の短縮が図れるだけでなく、利用者カードや身分証明書を持参していない時でも貸出可能な環境を整え、図書館利用の機会を逃さない。 【WEB OPAC(オンライン蔵書検索)書影表示】 ・WEB OPACで蔵書資料を検索した際、著書名等の情報と一緒に書影が表示されるようになる。 ・書影が表示されることで、本の雰囲気、内容を一層つかみやすくなりWEBからの資料予約の増加を図る。									
事業により見込まれる効果		WEB OPACの書影表示による非来館サービスの向上や、スマートフォンを使った利用者カードのバーコード表示による貸出を行うことで、デジタル操作になれた若い世代を取り込み、その家族や幅広い世代での利用を促せる。 また、開館して25年以上経過しており、デジタル化による新しいサービスの周知・広報を行う事で、図書館利用を離れていた住民の再利用へのきっかけにもなり、図書館への来館、利用の増加も目指せる。									
予算額・決算額		年度		令和7年度(実績)		令和8年度(予算)		令和9年度(計画)			
		特定財源	国支出金	5,788千円		千円		千円			
			県支出金	千円		千円		千円			
			地方債	千円		千円		千円			
			その他	千円		千円		千円			
一般財源		5,789千円		1,914千円		1,914千円					
重要業績評価指標（KPI）	指標	当初値	令和7年増加(目標値)		令和8年増加(目標値)		令和9年増加(目標値)		最終目標値		
			令和7年増加(実績値)		令和8年増加(実績値)		令和9年増加(実績値)		実績累計値		
	利用者カード バーコード表示利用件数	0	50	件	80	件	100	件	230		
			113	件		件		件	113		
	WEB OPAC(モバイルサイト)のスマートフォンアクセス数	0	50	件	80	件	100	件	230		
			0	件		件		件	0		
	WEB OPACのアクセス数	601,000	602,000	件	603,000	件	605,000	件	1,810,000		
			963,630	件		件		件	963,630		
	利用者カード バーコード表示サービスの利用度	0	5	%	10	%	15	%	30		
			1	%		%		%	1		
	利用者カード バーコード表示サービスの利用者満足度	0	3.5	ポイント	4.0	ポイント	4.2	ポイント	11.7		
			3.8	ポイント		ポイント		ポイント	3.8		
	WEB OPAC 書影表示の利用者満足度	0	2.5	ポイント	3.0	ポイント	3.5	ポイント	9.0		
			3.9	ポイント		ポイント		ポイント	3.9		
取組評価	B	令和7年10月28日に導入完了後、利用者カードのバーコード表示サービスの利用は8,401件中113件で、目標値よりは利用があるが、利用度は目標値に達していない。年度途中からの導入等ということもあるかもしれないが、まだ周知が足りていないようなので、今後、広報活動や利用者に声をかけて、利用度を上げていきたい。 また、WEBOPACは、書影表示や利用者カードのバーコード表示サービスが始まったことにより全体のアクセス数、スマートフォンでのアクセス数どちらも昨年度の利用を大幅に上回っている。実際に利用している方の満足度も目標数値を達しており、今後も周知していきたい。 WEB OPACはスマートフォンなどの携帯電話からパソコンと共通のサイトを利用でき、その方が利用しやすいことからモバイル専用サイトの作成を見送った。このため、KPIであるWEB OPAC(モバイルサイト)のスマートフォンアクセス数は、測定できていない。しかしながら、WEB OPACへのアクセス数を全体数とスマートフォンからの数を測定できることから、スマートフォンからのアクセス数を増やすように努めていく。									